



親子で 目指せ！1級合格！！



小学校は1年生で入学をして、6年生で卒業します。
イトマンも25級～1級があり1級を合格すると卒業します。
どちらも卒業するという共通点があります。小学校の6年間でも辛い事や大変な事が多くあると思いますが、先生や保護者の方の支えがありそれらを乗り越え、卒業を迎えると思います。
イトマンでも同じように、思った通りにうまくいかない事や進級しない事もあると思いますが、小学校と同じように、コーチや保護者の方の協力を得ながら1級合格卒業まで、頑張ってもらいたいと考えております。
3段階25進級制度のスモールステップで合格することの喜びを感じながら、1級合格卒業を目指して頂きたいと考えていますが、皆が皆順調に進級していくわけではありません。
誰にでも得意・不得意があるため、必ず困難に直面するときがきます。
そのようなときに、お子さまが『不得意だから』『できないから』と諦めてしまう心を持つのではなく、できるだけ頑張ったり、途中で諦めないようにコーチは指導を行っています。
それは1つのことを成し遂げるために努力することで、そこから逃げずに課題を乗り越えるための精神力や責任感が自然と身についていくからです。4泳法を習得し、健全な身体を作るのはもちろんですが、最後まで諦めない心や困難に打ち勝つ忍耐力、豊かな人間性を育てていくのが、私たちイトマンスイミングスクールの指導方針です。

子どものやる気、こうやって継続させちゃおう／



言葉かけのタイミングと順番

大人は比較的、減点法になりがちです。それを普段から加点法で考えられるようにするといいですね。
例えば、テストの同じ78点でも「78点しか取れなかった（22点も減点された）」と言われるのと「78点も取れた」では大きく違いますよね。まずは今できていることをきちんと褒めてあげる。
そのうえでもう少しこうできたらいいかなという点を指摘してみましょう。
実はこの話す順番がとても大切！最初にいいことを褒めてあげて、そのうえで努力するポイントを指摘すると子どもも気分よく、それをアドバイスとして受け入れることができます。
反対に、いきなりできなかった部分から指摘してしまうと、その後でいくら褒めたとしてもそれはもうフォローにしか聞こえないんです。
大人だって同じです。きちんと成果を認めてもらったうえでのアドバイスなら喜んで聞いて、素直にもっと頑張ろうと思えます。それが子どもたちのやる気upにもつながります。



こんなときの必殺技！！

そうはいっても、どうしても自分の子どもには頑張ってもらいたいと思うばかりに、子どものできないところ、ダメなところばかりが気になってしまうこともありますよね。
そんなときのとっておきの方法が「必殺！見ない！！」
優秀で真面目なお母さんほど、子どもをよ～く見ています。
そして改善点にばかり目がいて細かく口を出してしまいます。
そんな子どもを思う行動が、逆に学習のチャンスを奪ってしまうことも少なくありません。
時には目をつぶって、思い切り子どもがやりたいようにさせてあげましょう。
そうすることで、新しい可能性が広がったり、能力を伸ばすことができるかもしれません。
“一切見ない”ではなく、見てくれていると子どもが感じられるような距離感で見守ることが大切です。